



2 学年修学旅行～改めて平和について考える～



2年生は12月3日(火)から5日(木)の2泊3日で広島、関西方面へ修学旅行に行ってきました。行く間に、学年でインフルエンザ感染が拡大したため学年閉鎖の措置を取るなど大変心配しましたが、計

画通り無事行うことができました。天候にも恵まれ、充実した修学旅行だったようです。特に、1日目に行った広島では、初めて目にした原爆ドームの姿や資料館の展示品などに大きな衝撃を受けるとともに、被爆者の立場から核兵器廃絶を訴えてきた『日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)』が、今年のノーベル平和賞を受賞したということもあり、核兵器の廃絶や被害者の救済などについて改めて深く考える機会となったことでしょう。被爆者の高齢化にともない、原爆被害が記憶から記録となりつつある現在、このような機会を通じて、若い人たちが「核なき世界実現への努力」を継承してもらえればと思います。



原爆ドームの姿を心に刻む



平和への祈りを込めたセレモニー

今季も始まりました～冬の風物詩～



12月27日(金)より大阪花園ラグビー場で開催される「第104回全国高校ラグビー大会」、本校ラグビー班も3年ぶりに出場します。過日の抽選会の結果、12月28日(土)に岩手県代表の古豪“盛岡工業高校”との対戦が決定しました。なんとか初戦突破してもらいたいものです。



そんな中、本校では初冬のこの時期、男子の体育の授業でラグビーを行っていますが今季も始まりました。初めてラグビーボールに触れる生徒が多く、最初は基本となるパス回しから始めています。お互いに声をかけ合いながら、楽しそうに取り組んでいます。が、授業を通してラグビーに興味を持ち、“花園”を目指したいと思う生徒が増えると良いのですが。

この授業風景は40数年前の自分の頃と同様ですが、当時はさらに朝夕、“ラグビークラス・マッチ”も行われており、教員チームとも真剣に戦ったことを懐かしく思い出します。

